

アホウドリの概要

環境省自然環境局野生生物課

ミズナギドリ目アホウドリ科

アホウドリ(学名 *Diomedea albatrus*)

絶滅危惧 類(環境省レッドデータブック2002年)



1. 分布及び個体数

- ・ 繁殖地は伊豆諸島鳥島と尖閣諸島北小島及び南小島。
- ・ 鳥島での総個体数は、1,700羽程度と推定される。

2. 形態及び生物学的特性

- ・ 成熟個体で全長84～94cm。翼開長210～230cm。
- ・ 海洋島の裸地あるいは丈の低い草の生えた場所で営巣。繁殖活動は10～5月。
- ・ 平均で7歳から繁殖に参加するようになり、巣立った場所に戻ってきて繁殖を行う傾向が強い。
- ・ 通常1つがい1個産卵。

3. 保護の対策

- ・ 種の保存法による国内希少野生動植物種指定(平成5年指定)。
- ・ 種の保存法に基づき保護増殖事業計画を策定し(平成5年)、鳥島の燕崎繁殖地において、土留め等による営巣地の環境整備事業に取り組んでいる。また、デコイによるコロニーの誘導を行うなど、鳥島の初寝崎側斜面における新たな繁殖地の形成に取り組んでいる。
- ・ 平成13年度より米国と共同して、小型発信器を装着して人工衛星による行動を追跡している。

